

第六次総合計画後期基本計画 重点プラン1《活力》

	指標	実績値			目標値（～R7）		目指す方向性		
		令和3年度	令和4年度	内容	数値	数値の根拠			
基本目標値	関係人口	671人	166人	・学生との連携事業 10人 ・里都まち交流拠点 156人 ・NPO法人子育ての輪Lei 一人	350人	・学生（特に大学生）との連携事業による関係人口 20人 ・里都まち交流拠点 215人 ・町内NPO等実施事業 150人	様々な主体が連携し交流することで、行ってみたい、住んでみたいまちづくりを目指します。		
	転入者数	237人/年	321人/年		380人/年	改訂版人口ビジョンの推計に合わせて見直し。			
	指標	実績値			目標値（～R7）		関連する施策	関係課	総合戦略の基本目標
		令和3年度	令和4年度	内容	数値	数値の根拠			
個別目標値	新規就農者数	13戸	13戸 (累計数) 令和4年度は0戸	①石橋 ②奥津 ③伊藤 ④藤間 ⑤長谷 ⑥宍室 ⑦大下 ⑧俺たちのファーム、⑨小田原・箱根ファーム ⑩藤川 ⑪栗原 ⑫大谷 ⑬岸田	16戸	前期基本計画の目標（10戸）は達成2年に1人程度の目標設定。	5-1-1 持続可能な農業の育成	産業振興課	1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
	交流人口	135,401人/年	139,010人/年	里都まちカフェ貸出人数 160人／里都まちキッチン・インターロッキング貸出人数 220人／里都まちカフェ来客数 19,974人／野球場16,866名／多目的広場（北側）5,853人／多目的広場（南側）7,672人／パークゴルフ場85,801人／なかい健康スポ・レク祭 303人／テニスのつどい101人／ノルディック・ウォークイベント40人／里都やまぶらっとウォーク46人／健康マラソン大会 173人／健康づくりステーション利用者 1,786人／県西移住セミナー 13人／オンライン移住相談2人	200,000人/年	新型コロナウイルスの影響が長引くとも考えられることから、前期計画と同数の20万人で維持。	5-2-1 魅力づくりと観光の推進	企画課 産業振興課 まち整備課 生涯学習課 健康課	2 地方とのつながりを築き、地方へ新しいひとの流れをつくる
	ブランド品の売上	18,040千円	33,716千円		11,000千円/年	新規の認証品が類似品と同程度に売れることを想定し加算。	5-2-1 魅力づくりと観光の推進	産業振興課	1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
	産官学民の新たな連携事業数	0件	3件	・東海大学等学生との連携事業2件（イベントポスター、観光振興） ・中栄信用金庫との連携協定（移住定住）	5件	・ブルックスとの連携事業1件 ・日立との連携事業1件 ・その他企業との連携事業1件 ・東海大学等学生との連携事業2件（里都まちふらっとスポーツによるイベントでの学生との連携事業）	5-2-2 多様な交流環境の整備	企画課 （事業内容により各課）	2 地方とのつながりを築き、地方へ新しいひとの流れをつくる
	事業所の新設数	0件	0件		3件	秦野中井インターチェンジ南土地区画整理事業に新設予定数	5-3-1 雇用創出と就労支援	まち整備課 企画課	1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
	まちづくりパートナー制度活用件数	0件	2件		6件/年	町主催の事業に加え、任意団体への広報活動を行い、元年度実績の倍とした。	7-1-1 参加と協働の推進	地域防災課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
	町民の推奨意欲	算出不可	算出不可	令和4年度は全体アンケートを実施していないため	6.0ポイント	前期基本計画では、推奨している町民60%を目指していたが、実績は微増（2.4%上昇）であった。推奨意欲を上げることは難しく、時間もかかると考えられるため、キリの良い数値に微増とした。	7-3-2 地域における情報化	企画課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

第六次総合計画後期基本計画 重点プラン2《快適》

	指標	実績値			目標値（～R7）		目指す方向性		
		令和3年度	令和4年度	内容	数値	数値の根拠			
基本目標値	平均寿命	算出不可	算出不可	厚労省「令和2年市区町村別生命表」は公表予定、未公表	男：82.4歳 女：88.8歳	内閣府の「平成30年版高齢社会白書」では、当町の平均寿命は全国平均寿命を若干下回る値となっているが、同白書の令和12年の推計値である、男が82.39歳、女が88.72歳を上回るよう、小数点第二位を切り上げた値とした。	自然環境と共生する中で、子どもから高齢者までが元気にいきいきと暮らせるまちづくりを目指します。		
	出生数	32人/年	29人/年		50人/年	現行の人口ビジョンより、当町の合計特殊出生率を0.1上げるためには、5人出生数が増えなければならない。5年後に0.1アップを目指して、出生数を実績プラス5人とした。			
	指標	実績値			目標値（～R7）		関連する施策	関係課	総合戦略の基本目標
		令和3年度	令和4年度	内容	数値	数値の根拠			
個別目標値	里山をいかした取組数	2件	5件	ノルディックウォークイベント、里都やまぷらっとウォーク	10件	・基準値の6件 ・里都まち交流拠点での新たな取組 1件 ・里都まちぷらっとスポーツによる「ブラなかい」1件 ・学生との連携事業 1件 ・その他民間主体の取組 1件	1-2-1 水と緑・里山の保全と活用	全課	1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
	一人1日当たりのごみの排出量	923g	910g		850g/年	「足柄上地区ごみ処理広域化に向けた基本方針」より	1-4-1 ごみ減量化と資源再生	環境上下水道課	2 地方とのつながりを築き、地方へ新しいひとの流れをつくる
	子育て支援センター利用数	3,288件	3,891件		8,000人/年	過去4年の利用実績及び人口の推移をもとに向こう5年間の見込み量を算出し、その平均値は7204人となるが、総合計画に基づく施策の推進等による増加を見込み8000人とした。ただし、R2はコロナウイルスの影響で大幅な減少の見込み。	2-2-2 子育て・子育て支援の充実	福祉課	1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
	ネウボラ利用件数	1,111件	1,242件		1,300件/年	出生数の目標値が基準値の約1.1倍となるため、利用件数の基準値1,195件に1.1をかけた件数を目標値とする。(約1,328件)ただし、R1実績値、R2母子健康手帳交付状況をふまえ、1,300件とする。	2-2-2 子育て・子育て支援の充実	健康課	2 地方とのつながりを築き、地方へ新しいひとの流れをつくる
	小学生給食費自己負担額	月額3,800円/人	月額0円/人		0円/人	段階的な自己負担額軽減（補助額増）なども検討しながら、無償化を目指す。	2-2-2 子育て・子育て支援の充実	教育課	1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
	総合型地域スポーツクラブ数	0件	0件		1件	総合型地域スポーツクラブの前身組織である「里都まちぷらっとスポーツ」が、総合型地域スポーツクラブになることを想定。	3-2-2 生涯スポーツの推進	生涯学習課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
	生活交通の満足度	算出不可	算出不可	令和3年度は満足度調査（アンケート）を実施していないため	40%	前期の重点プランの実績は、当初の基準値18.8%から29.7%となっており、5年間で10%強の満足度が上昇しているため、後期でも同様に10%程度の上昇を目指し、40.0%とする。	4-2-2 生活交通等の充実	企画課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

第六次総合計画後期基本計画 重点プラン3《安心》

	指標	実績値			目標値（～R7）		目指す方向性		
		令和3年度	令和4年度	内容	数値	数値の根拠			
基本目標値	新たな地域活動の実施数	2件	21件	里都まちぶらっとスポーツによるイベント開催5件、サロン活動16件（社協なかまるサロン）	9件	・里都まちぶらっとスポーツによるイベント開催 2件 ・新規サロン活動数 5件 ・空き家を活用した活動数 2件	地域の人たちで助け合い、多様な地域活動が行われている住み続けたいまちづくりを目指します。		
	転出数	301人/年	257人/年		350人/年	直近4年間の平均の転出数は、350人強。転出を積極的に食い止める取組は難しく、転出してもいずれ戻ってくるようなまちづくりを時間がかかってもやっていくことが必要だと考える。したがって、転出数はこれ以上増えないようにという意図で、近年の傾向と同程度に設定。			
	指標	実績値			目標値（～R7）		関連する施策	関係課	総合戦略の基本目標
		令和3年度	令和4年度	内容	数値	数値の根拠			
個別目標値	未病センター利用者数	615人/年	1,786人/年		1,000人/年	前期基本計画と同数。	2-1-1 生涯を通じた健康づくり	健康課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
	サロン活動数	15件	12件	地区サロン9件、保健福祉センター3件	19件	新規地区サロン 5件	2-3-1 高齢者保健福祉の充実	健康課 地域防災課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
	空き家を活用した活動数	1件	1件	NPO法人子育ての輪Leiが、空き家をリノベーションして活動拠点を整備し活動している。	3件	前期の優良事例1件を参考に、2倍の2件増で、合計3件の事例創出を目指す。	4-2-1 総合的な定住促進	企画課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
	防災講座実施数	3回/年	7回/年	・なっ得出前講座3回（北田自治会、中村小学校、JAかながわ中井支店） ・押しかけ出前講座4回（境別所、宮上、本境、北窪自治会）	12回/年	自主防災会向けの防災講座が主だが、町内企業にも事業を周知し利用を促していく。	6-1-2 防火体制の充実	地域防災課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
	安心・安全メール登録件数	3,437件	3,484件		3,300件	広報紙等を利用して周知し、登録者数の増加を図る。	6-1-2 防火体制の充実	地域防災課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
	新たな外国語対応の取組数	7件	2件	外国籍住民に対する町長ヒアリング、電力・ガス・食料品等物価高騰対策臨時特別給付金案内	3件	・行政手続きに関する取組 1件 ・情報の発信や入手に関する取組 1件 ・教育や防災など生活に関する取組 1件	7-1-3 人権を尊重するまちづくり	全課	4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる